



どうむ プラザやなぎ童夢について

プラザやなぎ童夢運営委員会 委員長 高野 久義 令和5年4月

「プラザやなぎ童夢」とは、茅ヶ崎市からの委託事業で、放課後の体育館を開放した遊び場のことです。柳島小学校の児童なら誰でも参加でき自由に遊ぶことができます。

「目的」放課後の子どもの居場所作り、遊びを通して、年齢の違う子ども達が交流し、自主性や社会性を養います。

プラザやなぎ童夢パートナー募集

＜パートナー業務と時間と内容＞

火、水、木曜日の14:30～17:00(その他、懇談会や個人面談にも開催)

月1～4 回程度ご都合のよい日に準備、後片づけや怪我がない様に見守りをします。子ども達と一緒に元気に遊ぶ方、折り紙や絵が得意な方、お話が好きな方など子どもと楽しく過ごせる方を募集しています。

《パートナー例》

例1) 水曜日しか入れないので希望日を伝えて月2回程度入っています。

例2) 仕事の休みの日が決まっていないので入れる日を伝えて月1回程度入っています。

例3) 週に1回、月に3～4回入っているときもあります。

など、はいれる日の希望を聞いています。はいれない月があっても対応しています。

また、救急救命や子どもとのかかわり方などの講習や年間4～5回の会議もあります。

パートナー協力謝礼
1300円/1回

プラザでは、常時3人以上のパートナーがご家庭での保護者と同じ目線で子どもたちの見守りをしています。

待機教室の様子(本、ぬりえ、紙飛行機、DVD鑑賞)



体育館の様子(ボール、フラフープなど)



※ 待機教室は、授業時や行事等で体育館が使えない場合に学習室を利用してプラザが始まるまでの時間を子どもたちがパートナーと過ごしている教室のことです。待機教室は1年生の学習室を利用しています。

※ 保険の関係上と安全面から、未就学児の同伴はご遠慮いただいています。

プラザやなぎ童夢のパートナーに協力していただける方は
南栄美子まで連絡をお願いいたします。(080-5047-0957)

<茅ヶ崎市小学校ふれあいプラザ>

茅ヶ崎市では、平成 14 年度より、放課後等において、児童に安全・安心な遊び場を提供するために市の委託事業として「小学校ふれあいプラザ事業」をスタートしました。その後、平成 19 年度から始まった、国（文部科学省）の「放課後子ども教室推進事業」に位置づけ、推進を図っています。

この事業は、学校・保護者・地域の方々に組織された運営委員会により、各小学校区ごとに実施しています。開設日にはパートナーと呼ばれる方々が見守る中で、楽しい遊具などを自由に使い、年齢の異なる児童が、交流を深めながら遊ぶことができます。

市内では、全 19 小学校のうち 18 校で開設しており、香川小においては、開設に向けて調整中です。

小学校ふれあいプラザの開設日は、授業のある日（月～金、各プラザにより曜日は異なります。）のほか、夏休みなどの長期休暇中にイベントを予定しているプラザもあります。参加対象者は、その小学校に通学している児童全員で、利用料金は無料です。

<パートナー募集>

現在、プラザ活動時に子どもたちの見守りを行うパートナーの募集を行っています。

活動時間や日数等はプラザによって異なり、各プラザがパートナー会議をとおして決定しています。

パートナーには、1 回の活動につき 1,300 円の協力謝礼が支払われます。

子どもが好きな方、将来子どもに関わる仕事に就きたい学生の方、プラザに参加しているお子様の保護者の方等、ご興味のある方は青少年課までご連絡ください。